

**令和8年上半期
火災・救急・救助の概要**

高砂市消防本部

目 次

【火災】

1 火災の概要	1
(1) 出火原因	1
(2) 死者及び負傷者	1
(3) 建物焼損棟数及びり災世帯数	1
(4) 損害額	1
2 火災発生状況（前年との比較）	2
3 年別出火件数、損害額及び火災種別	3
(1) 年別出火件数及び損害額	3
(2) 年別火災種別件数	3
4 月別火災発生状況	4
5 時間別火災発生状況	5
6 曜日別火災発生状況	5
7 地区別火災発生状況	6
8 火災覚知状況	6
9 出火原因及び損害額	7
10 初期消火状況	8
(1) 初期消火実施状況	8
(2) 初期消火器具使用状況	8

【救急】

1 救急の概要	9
(1) 事故種別	10
(2) 傷病程度別搬送人員	10
2 救急出動状況（前年との比較）	11
3 月別出動件数	12
4 時間別出動件数	13
5 曜日別出動件数	13
6 地区別出動件数	14
7 急病にかかる疾病分類別搬送人員状況	14
8 現場到着所要時間別出動件数	15
9 病院収容所要時間別搬送人員状況	15
10 年齢区分別傷病程度別搬送人員状況	16

11 発生場所別搬送人員状況	16
12 応急処置実施件数	17

【救助】

1 救助の概要	18
2 救助出動状況（前年との比較）	19
3 月別出動件数	20
4 地区別出動件数	20
5 救助種別及び傷病程度別出動件数	21
6 救助種別及び発生場所別出動件数	21

【火災】

1 火災の概要

令和 8 年上半期に高砂市内で発生した火災は 13 件（前年比 1 件増）で、13.9 日に 1 件の割合で、火災が発生したことになります。

また、出火率（人口 1 万人あたりの出火件数）は 1.5 件（前年比 0.1 件増）となりました。

火災種別ごとに見ると、建物火災 7 件（前年比 2 件増）が 53.8%を占め、次いでその他の火災 6 件（前年比 1 件増）となっています。建物火災では、住宅関係の火災が 6 件で、そのうち住宅用火災警報器を設置していたのは 5 件（1 件については自動火災報知設備を設置）でした。

(1) 出火原因

出火原因は「こんろ」によるものが 1 件、「炉」が 1 件、「電気機器」が 1 件、「電灯・電話等の配線」が 1 件、「配線器具」が 1 件、「溶接機・切断機」が 1 件、「火入れ」が 3 件、「その他」が 2 件、「不明」が 1 件、調査中が 1 件となっています。

(2) 死者及び負傷者

死者は 0 人（前年比増減無）、負傷者は 1 人（前年比 1 人減）となっています。

(3) 建物焼損棟数及びり災世帯数

建物焼損棟数は 9 棟で、焼損の程度は全焼 1 棟、部分焼 4 棟、ぼや 4 棟となっています。

り災世帯は 7 世帯で、り災人員は 17 人となっています。

(4) 損害額

損害額は 22,504 千円で、前年の 389 千円に比べ 22,115 千円増加しています。

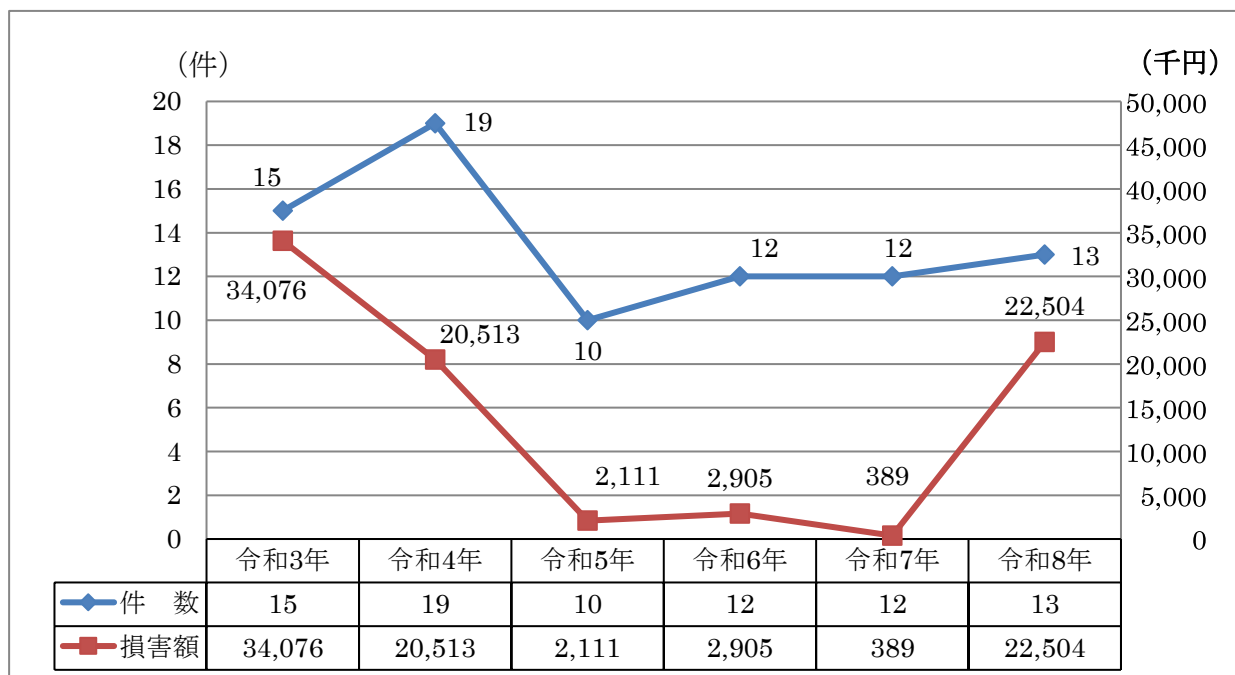
また、建物の損害額は 22,203 千円で前年の 16 千円に比べ 22,187 千円増加しています。

2 火災発生状況(前年との比較)

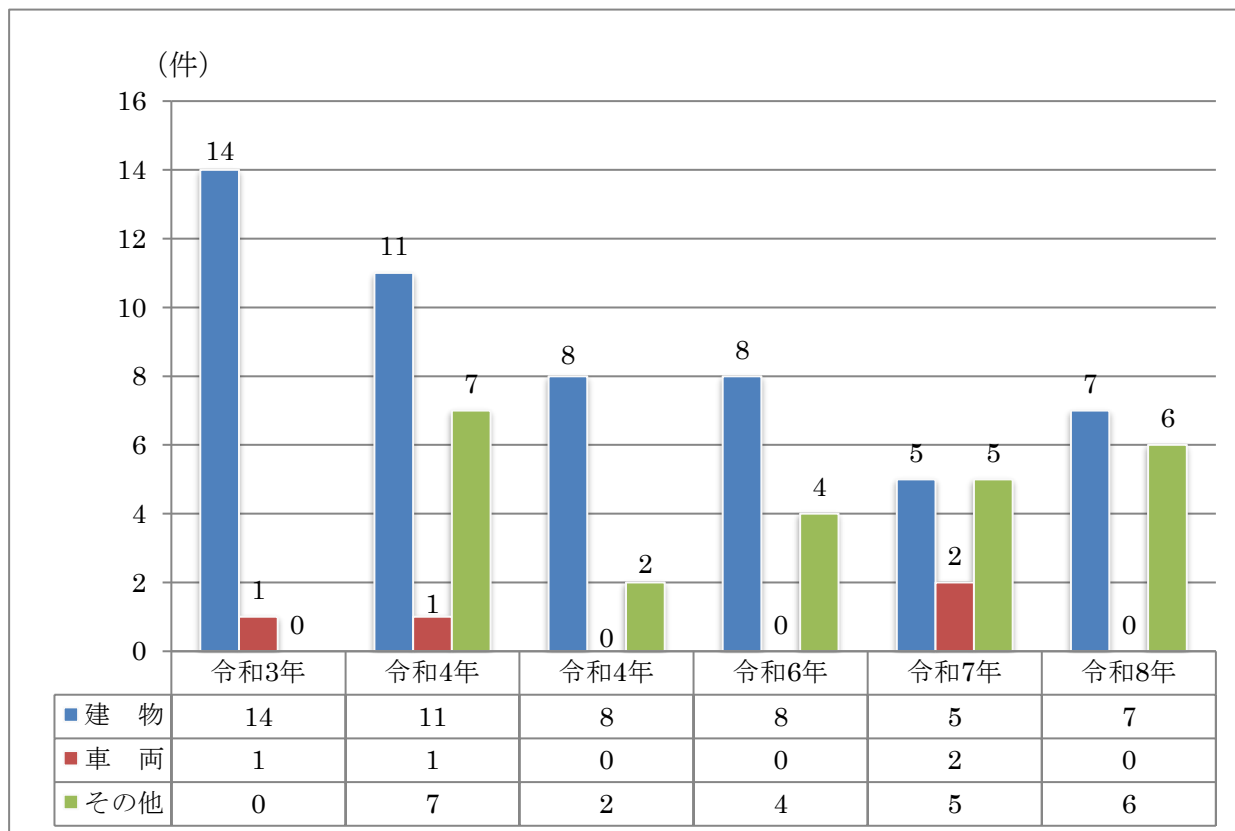
区 分 \ 年 別		令和 7 年	令和 8 年	増 減 (△は減少)
出 火 件 数	建 物 火 災	5	7	2
	林 野 火 災			
	車 両 火 災	2		△2
	船 舶 火 災			
	航 空 機 火 災			
	そ の 他 の 火 災	5	6	1
	合 計	12	13	1
損 害 額 (千円)	建 物	16	22,203	22,187
	林 野			
	車 両	366	12	△354
	船 舶			
	航 空 機			
	そ の 他	7	289	282
	合 計	389	22,504	22,115
焼 損 面 積	床 面 積 (㎡)	8	109	101
	表 面 積 (㎡)	4	66	62
	林 野 (a)			
焼 損 車 両 台 数		2	1	△1
焼 損 棟 数	全 焼	1	1	0
	半 焼			
	部 分 焼	1	4	3
	ぼ や	5	4	△1
	合 計	7	9	2
り 災 世 帯 数		1	7	6
り 災 人 員		1	17	16
死 者				
負 傷 者		2	1	△1

3 年別出火件数、損害額及び火災種別

(1) 年別出火件数及び損害額



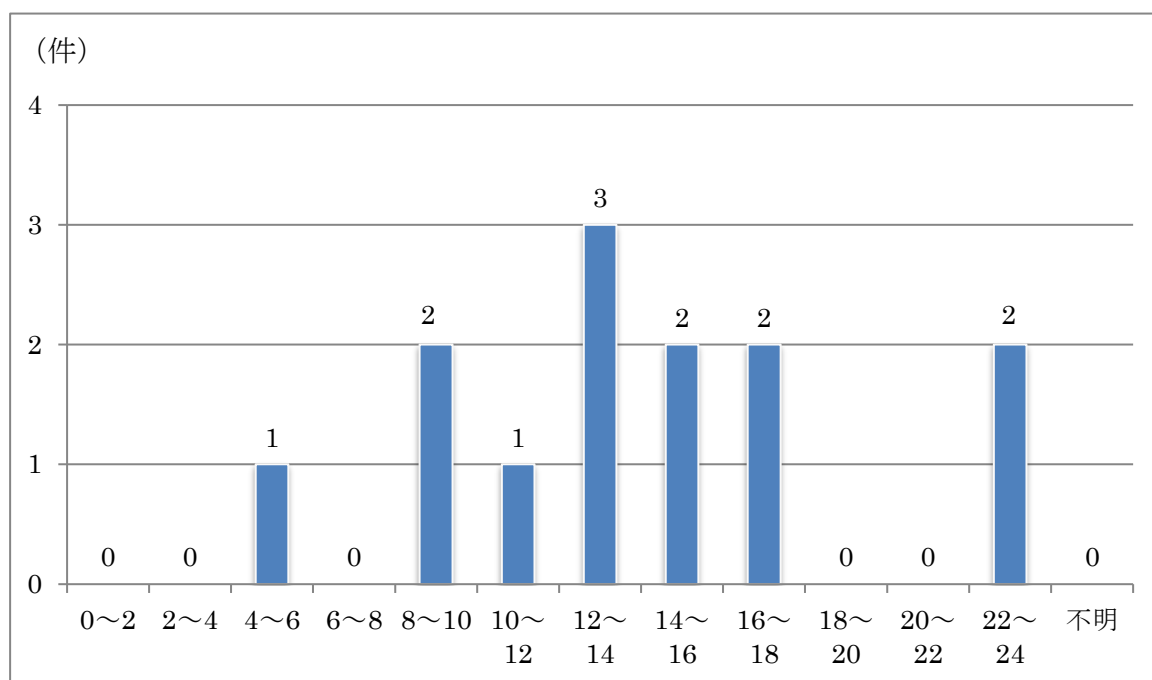
(2) 年別火災種別件数



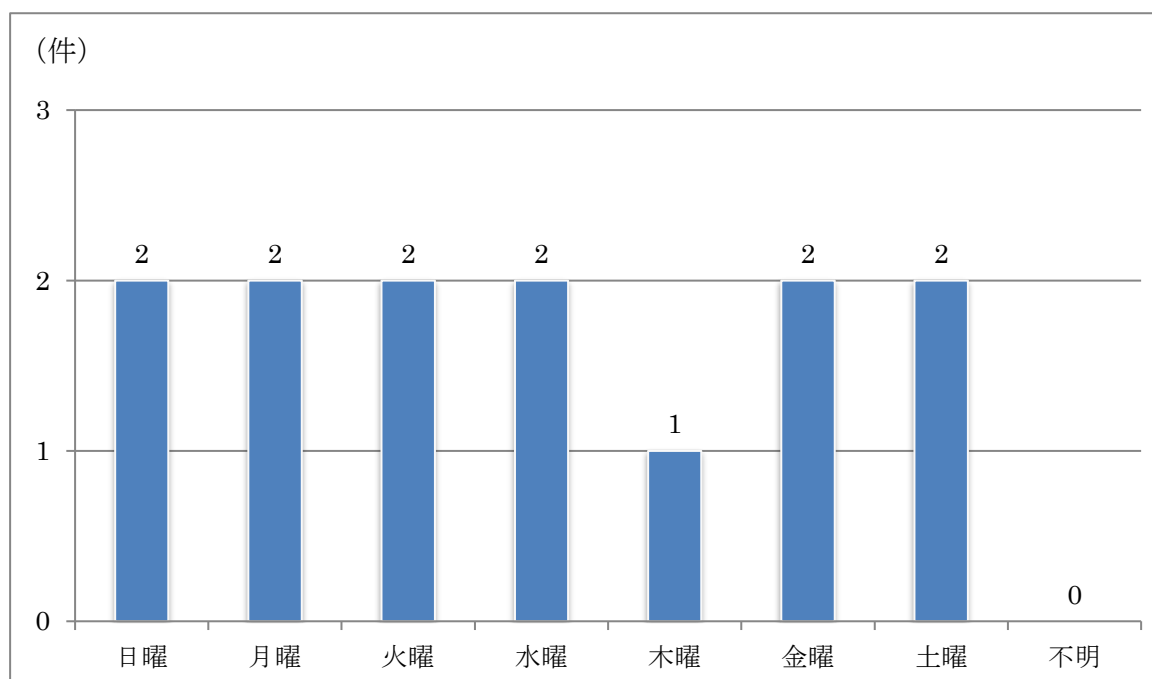
4 月別火災発生状況

月 別 区 分		合計	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
出 火 件 数	建 物 火 災	7	3	2		2		
	林 野 火 災							
	車 両 火 災							
	船 舶 火 災							
	航 空 機 火 災							
	その他の火災	6		3	2		1	
	合 計	13	3	5	2	2	1	
損 害 額(千円)	建 物	22,203	21,785	227		191		
	林 野							
	車 両	12					12	
	船 舶							
	航 空 機							
	そ の 他	289		19	262		8	
	合 計	22,504	21,785	246	262	191	20	
焼 損 面 積	床 面 積 (㎡)	109	100	9				
	表 面 積 (㎡)	66	66					
	林 野 (a)							
焼 損 車 両 台 数		1					1	
焼 損 棟 数	全 焼	1	1					
	半 焼							
	部 分 焼	4	3	1				
	ぼ や	4	1	1		2		
	合 計	9	5	2		2		
り 災 世 帯 数		7	4	2		1		
り 災 人 員		17	12	4		1		
死 者								
負 傷 者		1		1				

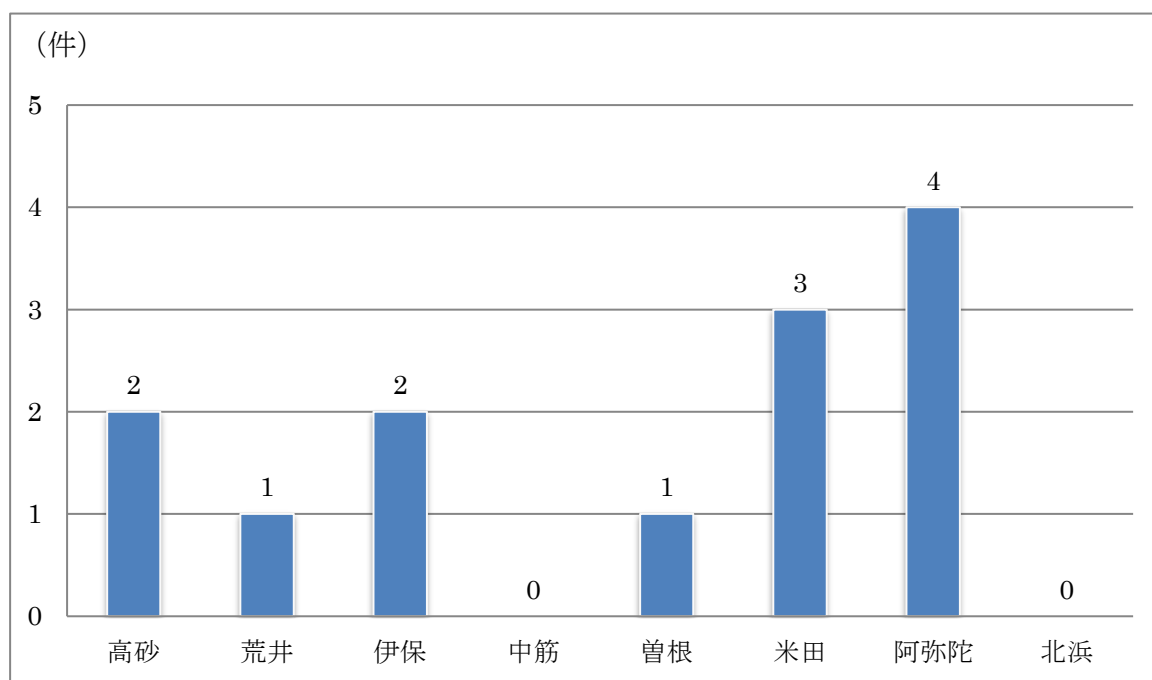
5 時間別火災発生状況



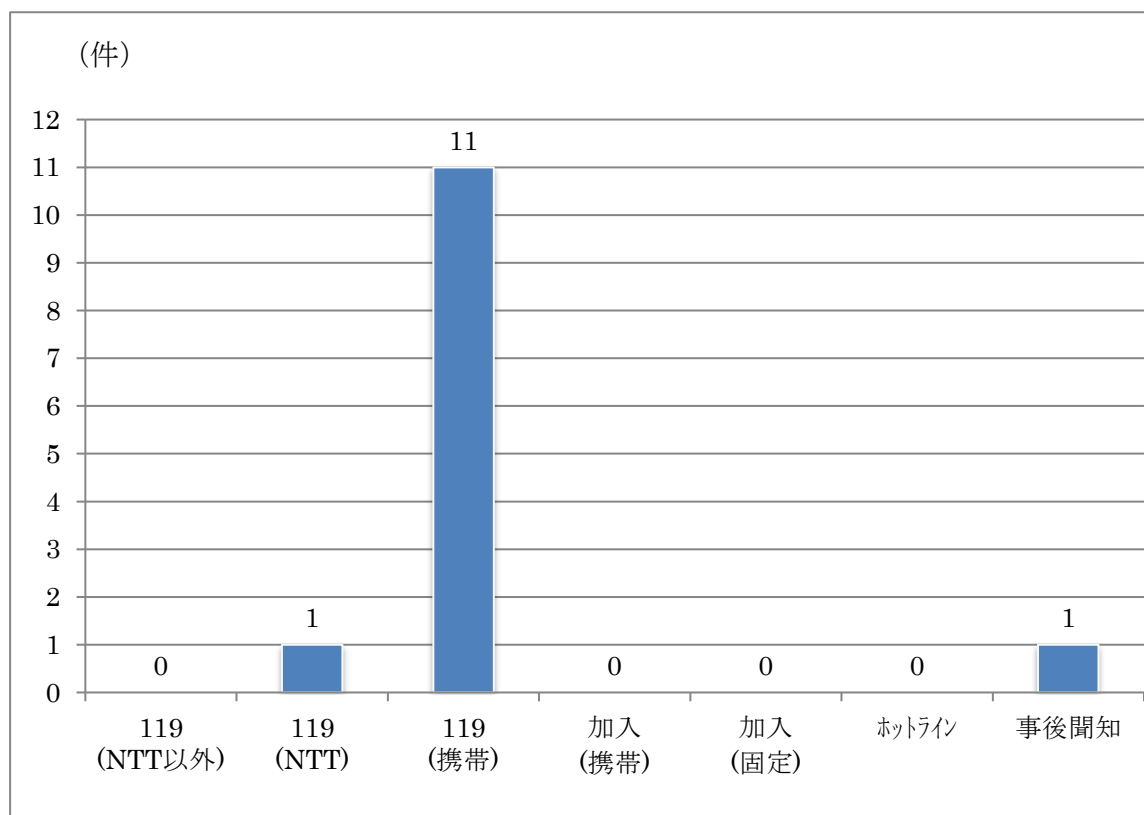
6 曜日別火災発生状況



7 地区別火災発生状況



8 火災覚知状況



9 出火原因及び損害額

原因別 \ 月 別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	合計	損害額 (千円)
出 火 件 数	3	5	2	2	1		13	22,504
こ ん ろ				1			1	0
炉		1					1	16
電 気 機 器	1						1	0
電 灯 ・ 電 話 等 の 配 線	1						1	10
配 線 器 具		1					1	226
溶 接 機 ・ 切 断 機			1				1	250
火 入 れ		2	1				3	15
そ の 他		1		1			2	192
不 明	1						1	21,775
調 査 中					1		1	20

10 初期消火状況

(1) 初期消火実施状況

種 別 区 分	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計
出 火 件 数	7					6	13
初期消火実施状況 (初期消火に成功)	4 (3)					6 (3)	10 (6)
初 期 消 火 な し	3						3

(2) 初期消火器具使用状況

種 別 区 分	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計
初期消火実施件数	4					6	10
水 バ ケ ッ						2	2
屋 内 消 火 設 備							
強 化 液 消 火 器							
粉 末 消 火 器	1					2	3
水道、浴槽、汲み置き 等の水をかけた	2					1	3
寝具、衣類等をかけた							
も み 消 し た						1	1
そ の 他	1						1

【救急】

1 救急の概要

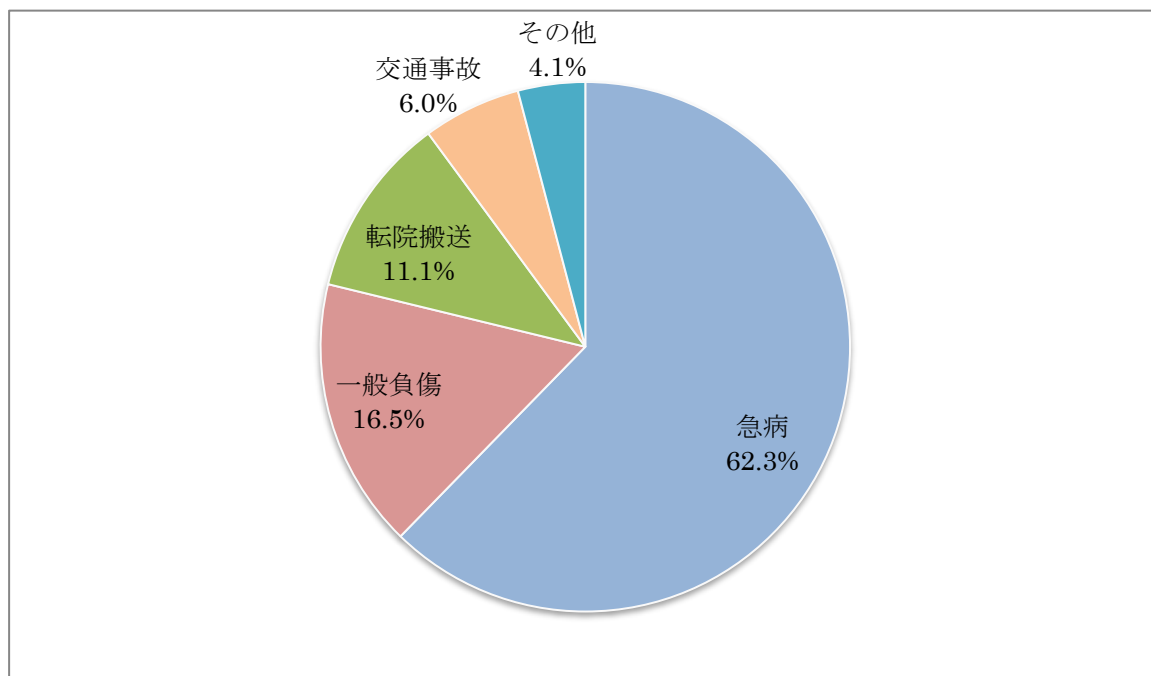
令和 8 年上半期の救急出動件数は 2,334 件（前年比 109 件減）、搬送人員は 2,095 人（前年比 121 人減）となっています。これは、1 日平均 12.9 件出動し、市民 40.7 人に 1 人を救急車で医療機関へ搬送したことになります。

区 分			出動件数	搬送人員
事故 種 別	火 災		6	1
	自 然 災 害			
	水 難 事 故		1	
	交 通 事 故		139	121
	労 働 災 害		19	18
	運 動 競 技		19	19
	一 般 負 傷		386	347
	加 害		3	3
	自 損 行 為		18	12
	急 病		1, 455	1, 314
	そ の 他	転 院 搬 送	259	260
		医 師 搬 送		
		資器材等輸送		
そ の 他		29		
合 計			2, 334	2, 095

区 分		搬送人員
傷 病 程 度	死 亡	26
	重 症	177
	中 等 症	1,181
	軽 症	711
	そ の 他	
合 計		2,095

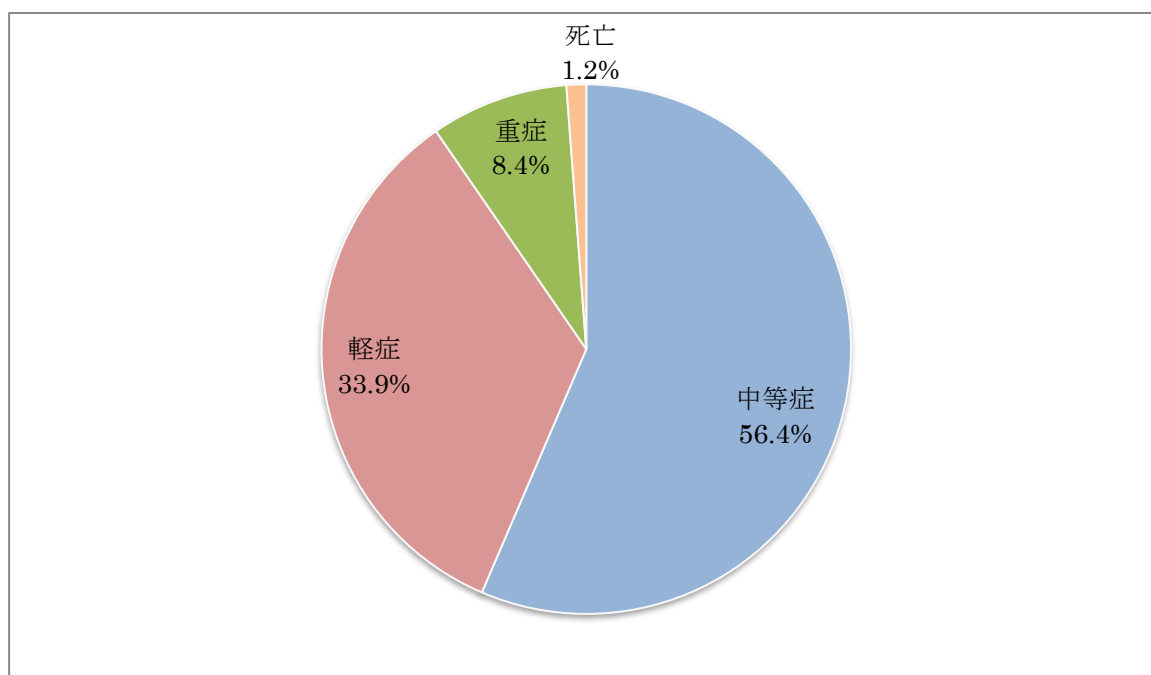
(1) 事故種別

事故種別では急病が 1,455 件(前年比 171 件減)で全体の 62.3%を占め、次いで一般負傷が 386 件(前年比 15 件増)、転院搬送が 259 件(前年比 32 件増)となっています。



(2) 傷病程度別搬送人員

傷病程度別搬送人員は中等症が 1,181 人(前年比 42 人増)で全体の 56.4%を占め、次いで軽症が 711 人(前年比 184 人減)、重症が 177 人(前年比 35 人増)、死亡が 26 人(前年比 14 人減)となっています。



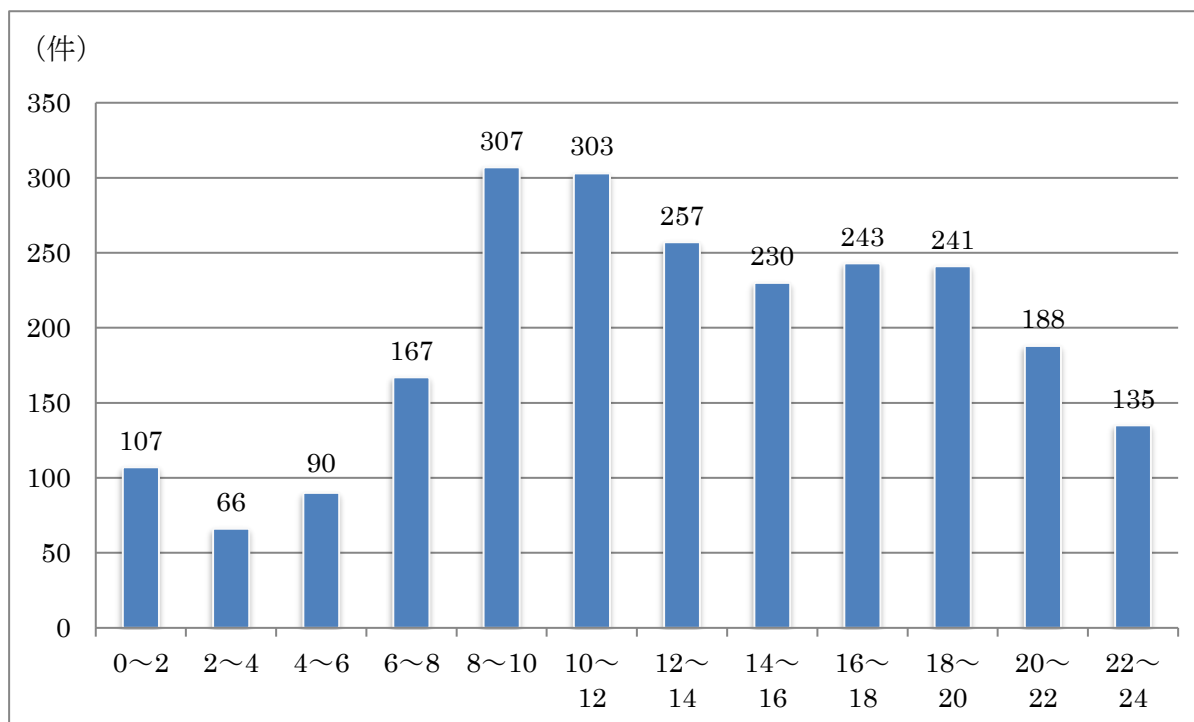
2 救急出動状況(前年との比較)

区 分 \ 年 別		令和 7 年	令和 8 年	増 減 (△は減少)	
出 動 件 数		2, 443	2, 334	△109	
事 故 種 別	火 災	4	6	2	
	自 然 災 害				
	水 難 事 故	7	1	△6	
	交 通 事 故	133	139	6	
	労 働 災 害	21	19	△2	
	運 動 競 技	18	19	1	
	一 般 負 傷	371	386	15	
	加 害	2	3	1	
	自 損 行 為	9	18	9	
	急 病	1, 626	1, 455	△171	
	そ の 他	転 院 搬 送	227	259	32
		医 師 搬 送			
		資器材等輸送			
		そ の 他	25	29	4
搬 送	不 搬 送	238	247	9	
	搬 送 人 員	2, 216	2, 095	△121	
傷 病 程 度	死 亡	40	26	△14	
	重 症	142	177	35	
	中 等 症	1, 139	1, 181	42	
	軽 症	895	711	△184	
	そ の 他				

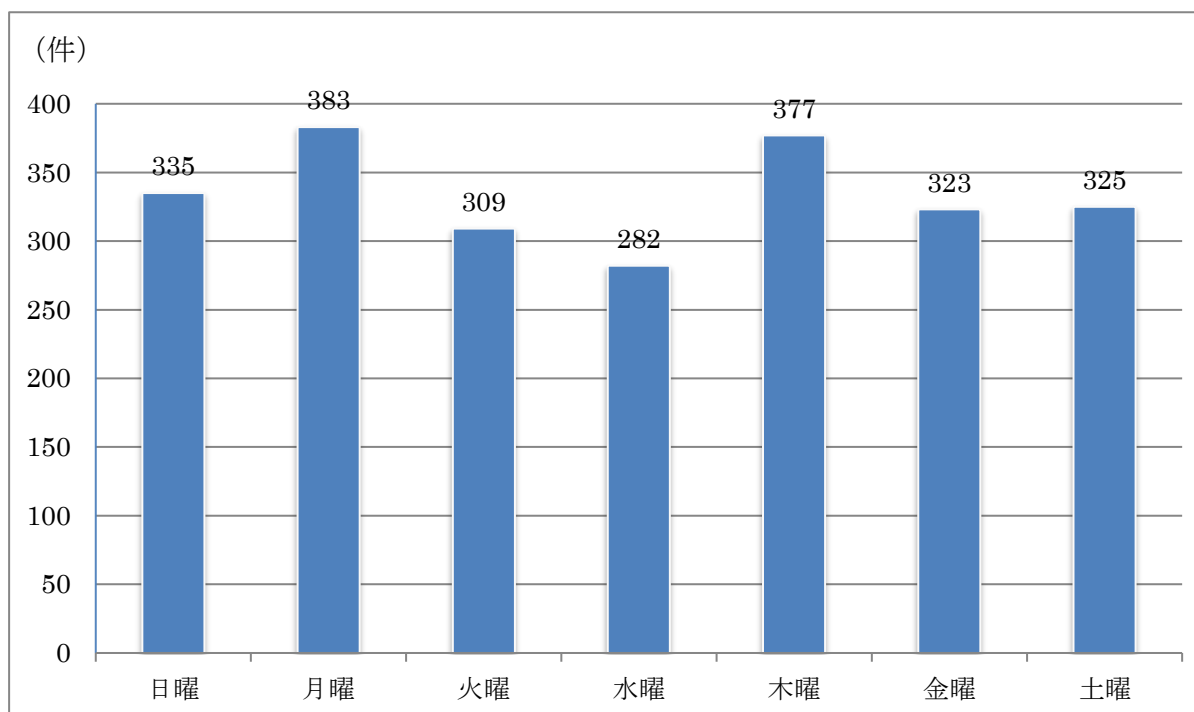
3 月別出動件数

月 別 区 分		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	合 計	
		出動件数	447	390	409	365	400	323	2,334
事 故 種 別	火 災	1	3		2			6	
	自然災害								
	水難事故				1			1	
	交通事故	19	25	21	32	29	13	139	
	労働災害	4	3	4	2	3	3	19	
	運動競技	1	4	5	2	3	4	19	
	一般負傷	74	49	69	63	77	54	386	
	加 害		1		1	1		3	
	自損行為		3	2	1	9	3	18	
	急 病	289	257	245	214	237	213	1,455	
	そ の 他	転院搬送	53	39	57	41	39	30	259
		医師搬送							
		資器材等輸送							
		そ の他	6	6	6	6	2	3	29
搬 送	不 搬 送	53	45	35	51	38	25	247	
	搬送人員	396	346	376	316	363	298	2,095	
傷 病 程 度	死 亡	8	1	7	5	3	2	26	
	重 症	36	42	25	25	27	22	177	
	中 等 症	233	188	220	178	204	158	1,181	
	軽 症	119	115	124	108	129	116	711	
	そ の 他								

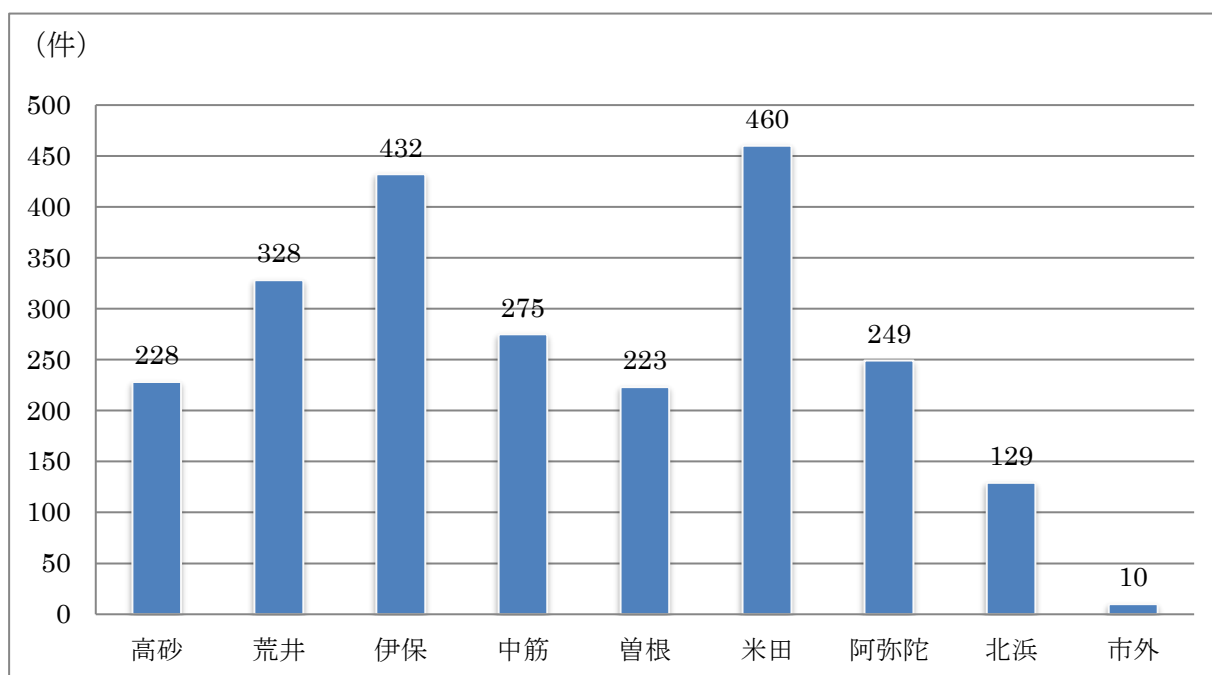
4 時間別出動件数



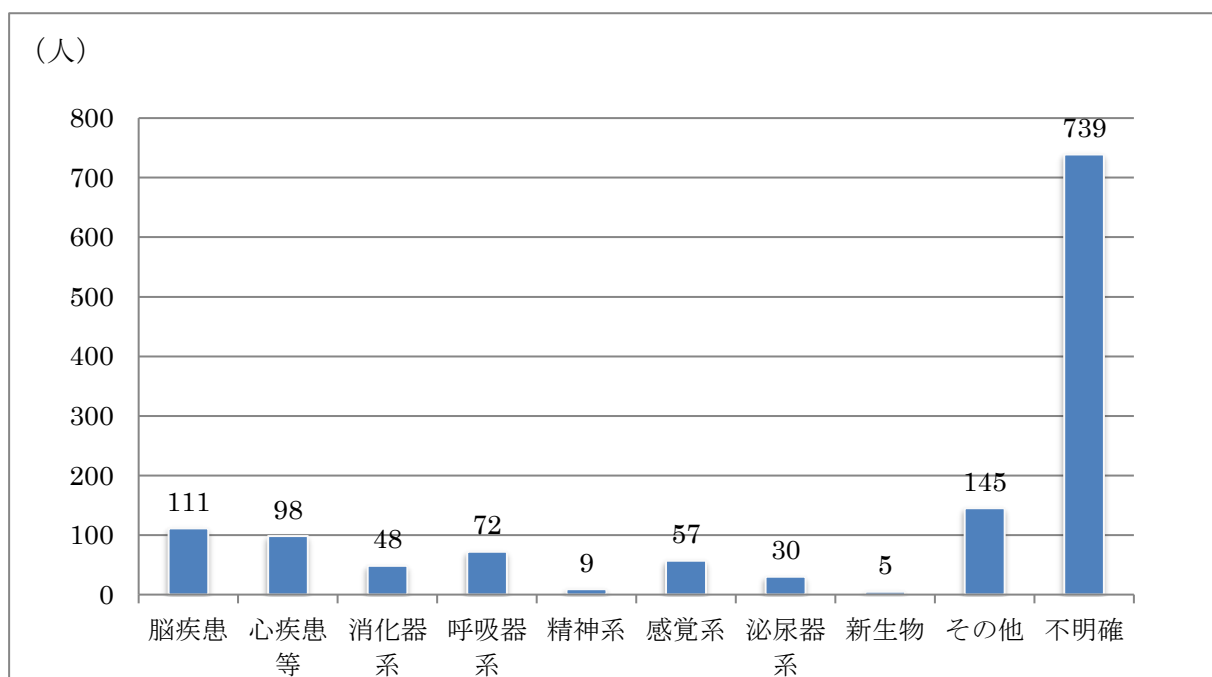
5 曜日別出動件数



6 地区別出動件数



7 急病にかかる疾病分類別搬送人員状況



8 現場到着所要時間別出動件数

通報から現場到着までに要する時間は、平均 7 分 35 秒となっています。5 分以上 10 分未満が 1,785 件と最も多く、全体の 76.5%を占めています。

時 間 区 分	3 分未満	3 分以上 5 分未満	5 分以上 10 分未満	10 分以上 20 分未満	20 分以上	合 計	現場到着 平均所要時間
急 病	6	107	1,153	187	2	1,455	7 分 39 秒
交通事故	3	11	98	26	1	139	8 分 20 秒
一般負傷	2	33	298	53		386	7 分 46 秒
上記以外	12	69	236	37		354	6 分 48 秒
合 計	23	220	1,785	303	3	2,334	7 分 35 秒

9 病院収容所要時間別搬送人員状況

通報から病院収容までに要する時間は、平均 35 分 24 秒となっています。30 分以上 60 分未満が 1,333 人と最も多く、全体の 63.6%を占めています。

時 間 区 分	20 分未満	20 分以上 30 分未満	30 分以上 60 分未満	60 分以上 120 分未満	120 分以上	合 計	病院収容 平均所要時間
急 病	15	399	864	35	1	1,314	35 分 33 秒
交通事故		29	81	10	1	121	39 分 57 秒
一般負傷	4	79	248	16		347	37 分 22 秒
上記以外	17	148	140	8		313	30 分 55 秒
合 計	36	655	1,333	69	2	2,095	35 分 24 秒

10 年齢区分別傷病程度別搬送人員状況

年齢区分別の搬送人員は、高齢者が1,409人と最も多く全体の67.3%を占めています。

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
死亡				4	22	26
重症		1	1	32	143	177
中等症	1	48	30	223	879	1,181
軽症	1	44	59	242	365	711
合計	2	93	90	501	1,409	2,095

年齢区分の定義

新生児 生後28日未満の者

乳幼児 生後28日以上7歳未満の者

少年 7歳以上18歳未満の者

成人 18歳以上65歳未満の者

高齢者 65歳以上の者

傷病程度は、初診における医師の診断に基づき次のように分類している。

死亡 初診時において死亡が確認されたものをいう。

重症 傷病程度が3週間の入院加療を必要とするもの以上をいう。

中等症 傷病程度が重症または軽症以外のものをいう。

軽症 傷病程度が入院加療を必要としないものをいう。

11 発生場所別搬送人員状況

発生場所別の搬送人員は、住宅が1,266人と最も多く全体の60.4%を占めています。

発生場所 区分	住宅	公衆	仕事場	道路	その他	合計
急病	1,034	217	24	37	2	1,314
交通事故		5	1	113	2	121
一般負傷	221	71	2	44	9	347
上記以外	11	279	18	2	3	313
合計	1,266	572	45	196	16	2,095

12 応急処置実施件数

区 分	事故種別	急 病	交通事故	一般負傷	左記以外	合 計
止 血		9	3	14	1	27
固 定		4	40	12	8	64
人 工 呼 吸		1	1			2
心 肺 蘇 生		39	1	3	3	46
酸 素 吸 入		232	11	17	52	312
気 道 確 保		45	2	4	4	55
	うち経鼻エアウェイ ※1	1			1	2
	うち喉頭鏡、鉗子 ※2	3		1		4
	うちラリソグアルマスク等 ※3	19	1	2	1	23
	うち気管挿管 ※4	1				1
保 温		5	6	3	3	17
被 覆		3	13	42	6	64
在 宅 療 法 継 続		9				9
除 細 動		6				6
静脈路確保（輸液）※5		21	1	1	1	24
薬 剤 投 与		11	1	1		13
血 糖 測 定		12				12
ブ ド ウ 糖 投 与		3				3
血 圧 測 定		1,224	116	331	309	1,980
聴診器による心音等の聴取		511	38	59	80	688
血中酸素飽和度の測定		1,280	120	343	311	2,054
心 電 図		728	26	46	106	906
そ の 他 の 応 急 処 置		1,281	120	342	308	2,051
合 計		5,424	499	1,218	1,192	8,333

※1 経鼻エアウェイを使用して気道確保を行った件数を内数として記載

※2 喉頭鏡、鉗子等により異物除去を行った件数を内数として記載

※3 救急救命士がラリソグアルマスク等を使用して気道確保を行った件数を内数として記載

※4 救急救命士が気管挿管処置を実施して気道確保を行った件数を内数として記載

※5 心肺機能停止時、心肺機能停止前及びブドウ糖投与のための静脈路確保の成功件数

【救助】

1 救助の概要

令和8年上半期の救助出動件数は 51 件（前年比 5 件減）、救助活動件数は 23 件（前年比 7 件減）となっています。

事故種別では、その他の事故が 22 件（前年比 5 件減）で全体の 43.1%を占め、次いで建物等による事故が 14 件（前年比 3 件減）となっています。

救助人員は 23 人（前年比 7 人減）で、建物等による事故が 13 人、交通事故が 6 人、その他の事故が 3 人、水難事故が 1 人となっています。

事 故 種 別	出動件数	活動件数	救助人員
火 災			
交 通 事 故	13	6	6
水 難 事 故	2	1	1
自 然 災 害			
機 械 事 故			
建物等による事故	14	13	13
ガス・酸欠事故			
破 裂 事 故			
そ の 他 の 事 故	22	3	3
合 計	51	23	23

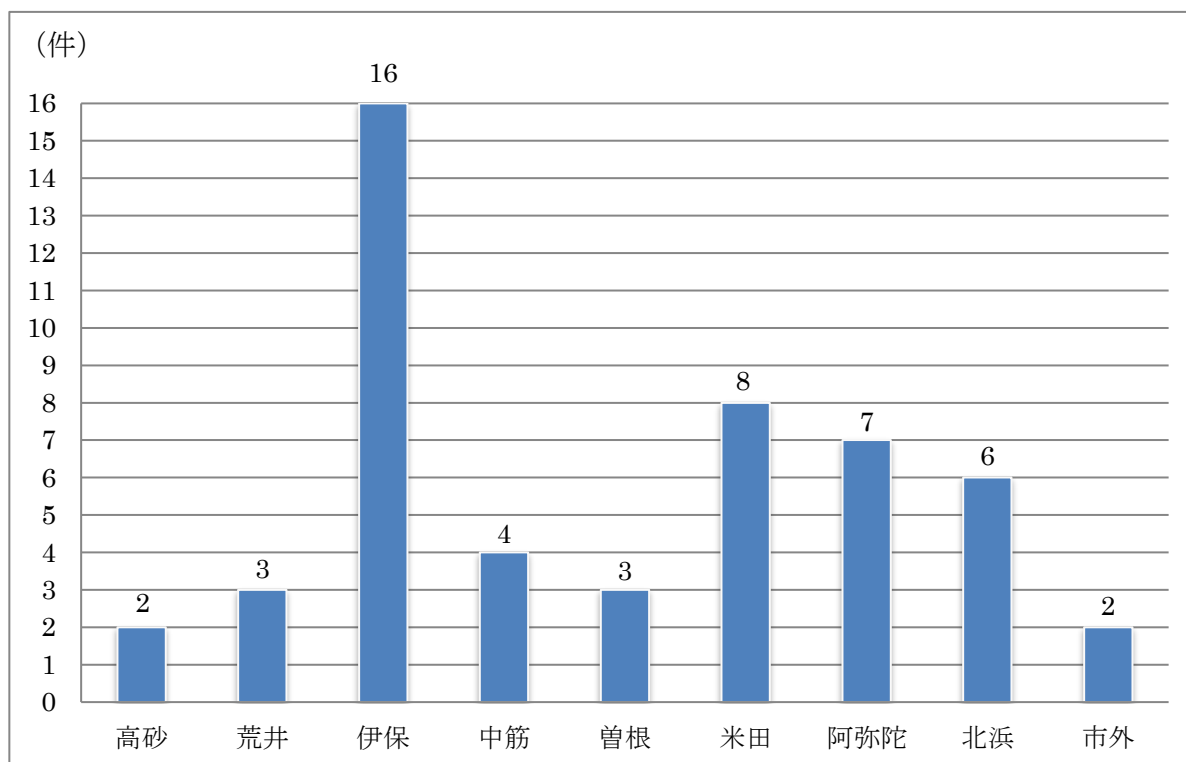
2 救助出動状況（前年との比較）

年 別 区 分		令和 7 年	令和 8 年	増 減 (△は減少)
出 動 件 数		56	51	△5
活 動 件 数		30	23	△7
救 助 人 員		30	23	△7
事 故 種 別	火 災			
	交 通 事 故	6	13	7
	水 難 事 故	6	2	△4
	自 然 災 害			
	機 械 事 故			
	建物等による事故	17	14	△3
	ガス・酸欠事故			
	破 裂 事 故			
傷 病 程 度	その他の事故	27	22	△5
	死 亡	11	9	△2
	重 症	2	1	△1
	中 等 症	9	7	△2
	軽 症	5	4	△1
	そ の 他	3	2	△1

3 月別出動件数

月 別 事故種別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	合計
火 災							
交 通 事 故	3	2	3	1	3	1	13
水 難 事 故		1		1			2
自 然 災 害							
機 械 事 故							
建物等による事故	1	1	3	2	2	5	14
ガス・酸欠事故							
破 裂 事 故							
その他の事故	6	3	4	3	4	2	22
合 計	10	7	10	7	9	8	51

4 地区別出動件数



5 救助種別及び傷病程度別出動件数

事故種別 区分		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス ・ 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
出 動 件 数			13	2			14			22	51
活 動 件 数			6	1			13			3	23
救 助 人 員			6	1			13			3	23
傷 病 程 度	死 亡		1	1			7				9
	重 症		1								1
	中 等 症		2				4			1	7
	軽 症		2				1			1	4
	そ の 他						1			1	2

6 救助種別及び発生場所別出動件数

事故種別 区分			火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス ・ 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
出 動 件 数				13	2			14			22	51
屋 内	住 居							12			16	28
	その他の屋内							2			1	3
屋 外	道 路			10							1	11
	水 面	内 水面		1								1
		外 水面			2							2
	山 岳										2	2
	その他の屋 外			2							2	4
	地 下											
	そ の 他											